

富士見市立資料館 調査研究報告

第1号

戦国時代の難波田氏	黒田基樹
縄文中期勝坂式期の土偶装飾付土器	和田晋治
武蔵七党系図（村山党系図）と難波田氏	早坂廣人
歴史を紡ぐのは誰かー座敷簀づくりを例としてー	駒木敦子
難波田城資料館の「ちょこっと体験」	山野健一
水子貝塚採集の石器について	齊藤麻那
寄贈された弥生土器について	高橋宏之

2021.9

埼玉県 富士見市立資料館

創刊にあたって

当市には、国指定史跡水子貝塚を整備した水子貝塚公園と、県指定旧跡難波田氏館跡を整備した難波田城公園があり、それぞれに資料館が設置されています。水子貝塚資料館は、昭和 48 年に開館した考古館を平成 10 年に市内下南畑から水子貝塚公園の隣接地に移転し、平成 12 年に現館名に改称しました。難波田城資料館は平成 12 年に難波田城公園と同時に開館しました。

両館とも、展示事業や体験型事業を積極的に開催し、市民の方々が郷土の歴史や文化財に親しむ機会を提供しています。一方で、資料館の重要業務の一つである地域の歴史や文化財の調査・研究の成果については、企画展や広報紙などを通じて随時紹介をしてきているものの、十分に情報を伝えられていないことが課題でした。多くの博物館・資料館では「研究紀要」を発行していますが、当館は予算等の都合によりそれに類するものがこれまでありませんでした。そこで、インターネット上での公開を前提とした「調査研究報告」をこのたび刊行することといたしました。

「調査研究報告」の目的は、資料館の調査・研究等の成果を還元することで、地域史研究の一助にするとともに、研究者に限らず多くの方々に、地域の歴史に関心をもっていただくことにあります。また、「調査研究報告」を発行することで、学芸業務を担当する職員のスキルアップにもつながり、市民の求める人材の育成にも寄与できると考えています。

この「調査研究報告」が多くの方に利用され、地域史解明の一助となり、当市の財産となることを目指してまいります。

令和 3 年 9 月

富士見市立資料館長 和田 晋治

目次

創刊にあたって

目次・例言

紙上講演	戦国時代の難波田氏	黒田基樹	1
論文	縄文中期勝坂式期の土偶装飾付土器	和田晋治	6
研究ノート	武蔵七党系図（村山党系図）と難波田氏	早坂廣人	23
事例報告	歴史を紡ぐのは誰か －座敷箒づくりを例として－	駒木敦子	33
事例報告	難波田城資料館の「ちょこっと体験」	山野健一	36
資料紹介	水子貝塚採集の石器について	齊藤麻那	43
資料紹介	寄贈された弥生土器について	高橋宏之	45
編集後記			

例言

目的 本誌は、当館の活動に関連する研究・検討の成果や、事例報告を発表する場とする。

内容 記事は、地域に関するもの、収蔵資料に関するもの、資料館活動に関するものなどとする。

分類 記事の種類は「論文」「研究ノート」「事例報告」「資料紹介」などとする。分類は、執筆者の希望を参考に、編集者が決定する。

編集 投稿された記事については校閲を行う。誤りや、わかりにくい表現などがあれば、執筆者と協同して修正する。また、公的な発行物として不適切な内容や表現がある場合は、不採用としたり修正を求めることがある。

執筆者 主な執筆者は資料館職員と想定しているが、本誌の目的に沿った外部の方の投稿も歓迎する。

配付 配付は、富士見市公式サイトにおける PDF 形式での配布を基本とする